



愛するニッポン
ベルシリーズ



-DATA-

真鍮製/カラーゴールド
1.5mmφステンレスワイヤー
吊り 消音板つき
サイズ:4種類

価格:1,253円~3,564円(税込)

当社の商品はすべて **Made in japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048(281)1322 FAX 048(286)0866

<http://www.exp-japan.jp> e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp



クロモリピンペグ3種売れ筋商品紹介

- 硬い地面でも使用できるクロモリ鋼ピンペグは世界唯一。
細身であっても強度が保て軽量化可能。10枚重ねても35mmの厚さ。
- 引っ掛け式で扱いやすい。風にテントがあおられてもロープがはずれにくい「あごつき」仕様。
ロープが傷まぬよう成形加工済み。10mm径のロープ使用可。
- 加工困難なクロモリ鋼製にもかかわらず安価で提供。(金属加工業の伝統をもつ弊社だからのサービス)

クロモリピンペグM (C4)

クロモリ鋼(SCM435)製
カラー:黒メッキ仕上げ
長さ:150 mm 重量:30g
税込価格:388(本体価格¥360)



クロモリピンペグL (C5)

クロモリ鋼(SCM435)製
カラー:黒メッキ仕上げ
長さ:180 mm 重量:40g
税込価格:475(本体価格¥440)



クロモリピンペグLL (C6)

クロモリ鋼(SCM435)製 カラー:黒メッキ仕上げ
長さ:300 mm 重量:80g 税込価格:777(本体価格¥720)

まじめなニッポン

6mmφロープが使えるランナー3種

アルミランナー(C1) 10個入

アルミ製カラー:シルバー 重量:1.5g
穴径:7mmφ ロープ有効径:3mmφ~6mmφ
税込価格:¥658(本体価格¥610)
(注意) 単位:1袋/10個入り



スーパーランナー(C2) 10個入

ジュラルミン(A5052)製カラー:シルバー
重量:3g 穴径:7mmφ
ロープ有効径:3mmφ~6mmφ ロック可能
税込価格:¥831(本体価格¥770)
(注意) 単位:1袋/10個入り



スーパーランナーL (C3) 2個入

ジュラルミン(A5052)製カラー:シルバー
重量:15g 穴径:10mmφ
ロープ有効径:6mmφ~9mmφ ロック可能
税込価格:¥475(本体価格¥440)



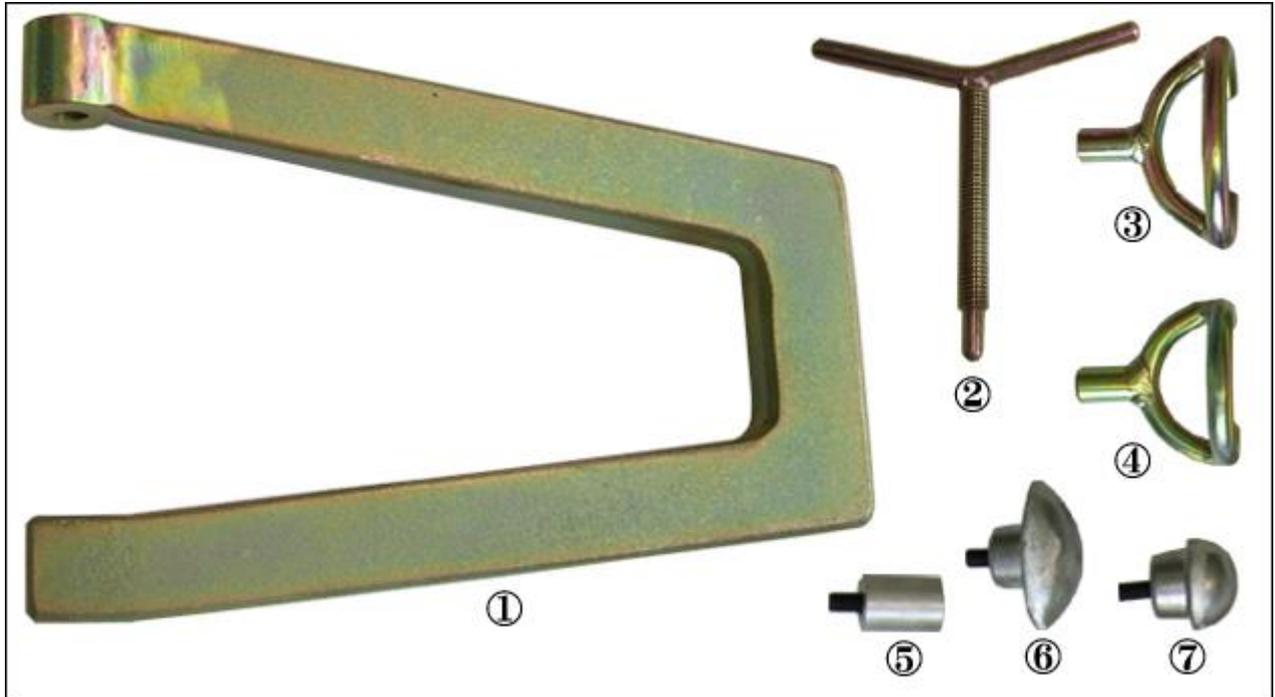
※取扱方法はパッケージに印刷してあります。

多くのユーザー様からお褒めの言葉を頂いているランナーの逸品です。

ピンチクリアー(靴矯正器具) 紹介

春の新人シーズンがやってきました。登山店様では、学生山岳部や山岳会の新人さんが先輩に連れてこられる風景が多数見られます。ユーザー様にとっても大切な時期です。エキスパートオブジャパンだけが提供している靴・矯正商品の紹介です。山行で数回使ってみて、ただでさえ履きなれない登山靴がどうしてもしっかりと馴染まないというユーザー様の悩みを即時解決してくれる秀れモノです。

◆登山靴、スキー靴、スノーボード靴などの矯正治具。靴を販売する店の必需品です。鉄製。



<パーツ名と素材>

①フレーム ②ハンドル ③楕円形受け ④丸型受け ⑤ジョイント ⑥楕円形当て ⑦丸型当て

⑤⑥⑦はアルミ製。総重量:3.48 kg 税込価格/¥151,200(本体価格¥140,000)

・スキー靴など、プラスチック製ブーツに使う際は⑥⑦の当てを暖めて使用下さい。必要以上に当てに熱を加えると、プラスチック製ブーツは壊れます。その際の責任はピンチクリアー使用者にあります。

・皮製靴の場合でも、⑥⑦の当てを暖めたほうが、短時間で押し出しが出来ます。

・ハンドル、本体、その他のネジ部には、たまにマシン油などをつけると、ピンチクリアーは長持ちします。注油をしないで永年、使い続けると、ネジが焼付き動かなくなります。

・ピンチクリアーの保管は油のついたウエスに包み、湿気の少ない、風通しの良い場所を選んで下さい。



第 67 章 梅池高原スノーハイキング(天狗原・白馬乗鞍岳・自然園)

今年は暖冬と予報されていたが本当に暖かい。長野も雪が少ないと耳にする。どこかスノーハイキングがしたいと思い、梅池高原スキー場で働いている友人に聞いてみた。「先日、梅池自然園と天狗原に行ったけど良かったよ」と情報をもらう。よし！梅池に行こう！！

そうと決まれば次は交通手段の手配。夜行バス一泊付ツアーを検索するがなかなか一人価格で泊まれるツアーが少ない。『夜発バスで行く！梅池高原格安プラン 一泊 リフト券 2 日間付き 19,500 円』を見つける。なかなかお得なツアーである。

3月25日(金) PM10時45分新宿 出発

行き先やツアー会社が異なるのであろう 8 台の大型バスがロータリーに次々入ってくる。私が乗車したバスは満席とアナウンスされる。春休みの週末というタイミングもあるのか賑わっている。

乗車と共に寝る準備へ取りかかり、携帯枕とアイマスクを装着する。睡眠装備を万全にしたが、寝たり起きたりの浅い眠りだ。

3月26日(土) AM6時 梅池高原スキー場着

天気は晴れ。風も無く穏やかな朝。ゴンドラが動き出すのが 8 時のため、それまで時間をつぶさなければならぬ。本日宿泊するホテルに荷物を置かせてもらおうと訪ねてみるが、フロントは電気が消え人気が無い…。どうしたものかと暫く考えるが勝手にロビーにいるのは怪しまれるのではないかと思い、ゴンドラリフト梅池高原駅へ向かう。近くに無料の足湯施設があり、設置されたベンチを使わせてもらい持参したパンで朝食をすませる。梅池高原駅の隣接した建物に更衣室、ロッカーなどがありここで準備をする。更衣室の利用は無料であるが、ロッカーを使用する際には使用料がかかる。更衣を済ませ必要無い荷物を全てロッカーにしまい準備万端！まだ 7 時だがチケット売場に人が並び始めたので私も列に参入。チケット販売時間まで 30 分以上ある。…長い。しばらくして後方を振り返るとすごい列になっている。最後尾が見えない。スキー場もまだまだ賑わってるな～とウキウキ気分になる。

8 時前にチケット売場がオープンする。引換券を渡し、二日間のリフト・ゴンドラフリーパスを受け取る。

さらに、今回はロープウェイを使用し梅池自然園まで行く計画である。こちらに行くには登山届の提出が義務付けられている。チケット購入時に提出を求められるので最初に準備をしておくことをお勧めする。

6 人乗りのゴンドラで、終点の「梅の森駅」を目指す。

途中通過する「白樺駅」にはヘリコプターで山頂に向かうイベントも行われている。(一回大人 14,000 円、子供 12,500 円パンフレット記載参照)



(3月27日の自然園駅)

ゴンドラで一緒になった男性が「せっかくだから今回ヘリコプターコースを申し込みました」と「白樺駅」で下車する。天気もいいので気持ちの良い飛行を楽しめる事と思われる。

ゴンドラ終点「梅の森駅」から 50m ぐらい離れた所にロープウェイ乗り場「梅大門駅」があり、往復券(1,340 円)をここで購入。ロープウェイに乗車する事 5 分で終点の「自然園駅」に到着する。ここでスタッフから入山に関しての注意事項の説明を 5 分ぐらい受ける。「昨日積雪があり、この付近多いところでは

50cm 近く積もっています。登る方は気を付けて下さい。また沢沿いは雪溶けが進んでおり沢が出て来ています。滑って降りられる方は道をしっかり選び、無理だと思ったら引き返して来るように！」とのことだ。

8時50分

エキスパートオブジャパンのワカンを装着し日焼け止めも塗り直し、GPS設定して出発！

というところでスタッフの方に呼び止められる。「今日はどちらへ行かれますか？一人ですか？それでしたら自然園に行くより天狗原まで行って帰って来ることをお勧めします。トレースもしっかり付いているし、天狗原は人が多いので何かあった時安心ですから。自然園は人が少ないですからね…。ま、今日は天気がいいので迷う事は無いと思いますが…。15時30分がロープウェイ最終時間ですからそれまでに戻って来て下さいね。」と。

「わかりました。気を付けて楽しむことができます。ありがとうございます。」今度こそ出発となる。多くの方がバックカントリーを楽しみに来てる方で、スキーにシールを付けている方や背に板を背負ってスノーシューで登っている方もいる。雪質が滑るのか、途中ずるずる滑っている方も。こういう時はキックステップである。久々の雪山歩きでいいトレーニングになる。

景色は最高！！

遠くに五竜、白馬、山山山～！！！！迫力満点！美しい。

10時00分 天狗原到着

テルモスでお茶を飲みながら呼吸を整える。時間に余裕があるので白馬乗鞍岳まで行ってこようと決める。白馬乗鞍岳方面少々ガスがかかり始めるがスキーヤー、ボーダーの方々が列をなして登って行く。さて、私も出発しよう～。



(天狗原から白馬乗鞍岳への登り)



(山頂道標・ケルン)

結構な斜面、普通に踏み込むとずるずると足が滑って行く。

11時00分 山頂 標高 2,437m 白馬乗鞍岳

アルパインスキーヤーの中にはさらに奥にある小蓮華山を目指している方も多くいる。

下りも歩きの私、そろそろ出発しようと立ちあがる。歩いて降りていると登って来るスキーヤーの方に話しかけられる。「滑らないんですか～？」「滑れないのです」「そういう楽しみ方もあるんですね～」と…。滑れたら楽しさ倍増ですかね…

景色を楽しみながら天狗原まで戻る。

綺麗なシュプールを描きながら滑ってくるスキーヤーに惚れ惚れする。どうしたらあんなに上手に滑れるのか…(スキーは数回経験したが、スピードと急斜面が苦手な恐怖心が先に立って全く上達せず今日に至る。)



12時20分 天狗原出発

ひたすら下ってロープウェイの場所に戻ると時刻はまだ13時。ロープウェイ最終時刻まで時間はたっぷりあるので自然園の方にも足を運んでみることにする。

梅池ヒュッテ、ビジターセンターなどの建物がひっそりたたずんでいる。冬期休業中である。

(←天狗平より 美しいシユプールたち)

<ポイント1>

梅池自然園 中部山岳国立公園

梅池高原駅からゴンドラとロープウェイを乗り継いで行く標高約1,900mの梅池自然園は、約100haの規模で広がる日本有数の高層湿原。

園内には遊歩道が整備され、春はミズバショウ、夏は高山植物の花々、秋は紅葉と四季折々の景色を見ながら気軽にトレッキングが楽しめる。

開園期間:6月1日(水)~10月31日(月)

入園料:大人300円(団体250円)

小人250円(団体200円)

団体は15名様以上 小人は小学生以下



(梅池自然園より)

真っ白い大地、スノーハイクの醍醐味は好きなところをどこでも歩けるということ！！

小さい丘を登り白馬方面の景色を楽しむ。小動物の足跡をおいかけると人が行けないような斜面などをいとも簡単に進んで行く足跡がある。小さいけどすごい！

午後になり気温が上がると、水分の多い雪質に変わりワカンにびっしり付いてくる。一時間ちょっと散策した後ロープウェイ乗り場に戻る。

15時 ロープウェイ乗車

朝説明していただいたスタッフが一緒だったので質問してみる。「ロープウェイが通っている下の道(樹林帯)はスノーシュー(ワカン)で歩いて問題無いですか?」「沢だけ気を付けていただければ歩くのは問題無いですよ」との回答を頂く。よし!!!明日はロープウェイを使用せず、自然園駅まで登ろうと計画する。ゴンドラでは年配の女性と一緒にいる。定年を迎え、旦那様と大阪から白馬に引っ越してきたとの事。冬の梅池高原には初めて来て、スノーシューを楽しめたが、午後になると雪がスノーシューにくっついて悪戦苦闘したと話される。

15時30分 梅池高原ゴンドラ駅到着

ロッカーの荷物を取り出し本日お世話になる「ホテルメリベル梅池」へ向かう。私の荷物を見たオーナーが「朝皆荷物を預けに来るけど、来なかったの?」と訪ねてくるので朝の状況を伝えると「6時30分まで

ロビーにいてくれたら良かったのに、ずいぶん早く来たんだね」とのこと。次回はそうさせてもらおう。民宿のような家庭的なホテル。夕食朝食付きなのもありがたい。

20 時近く、スキー場で勤務する友人から連絡がきて合流。居酒屋で飲み語らう。友人は 3 月いっぱいまでスキー場の仕事は終了。その後は山小屋での仕事が既に決まっている。次回は山小屋に会いに行こうと夏の楽しみができる。翌日も早朝勤務の友人だが、遅くまで付き合ってくれホテルに戻ったのが 22 時すぎ。早々に就寝する。

3 月 27 日(日)

天気は快晴！朝食後荷物をまとめて部屋から退室する。荷物は預かってもらい、チェックアウトする。再び樽池高原駅よりゴンドラに乗車し 9 時過ぎには樽の森駅に到着。

今日はここからロープウェイの終点、自然園駅まで歩く。ワカンを着用しGPSをセットして出発。スキーヤーのトレースもしっかり付いている。20 分ぐらいロープウェイ沿いに歩く。しばらくするとロープウェイから道がそれ急斜面を登る。登り切ると広い大地が現れる。なんていいコースなのだろうと、テンションが上がる。雪の状態によっては危ないところもあるが、今回訪れた時は雪崩の心配もないので思う存分楽しめた。

ここから 30 分もしないで終点自然園駅に着く。

折角なので、天狗原まで再び登る事に。昨日歩いた道からやや右にそれて歩く。全く違うコースのようで楽しい。青い空と白い山々。今日も最高の景色である。

下山後は温泉に入る予定。帰りのバスの時間までたっぷりあるので天狗原でラーメンを作り、雪山を満喫する。

再びロープウェイ沿いの道を歩いて下山する。途中、向かいの尾根を二頭の丸々とした生き物がピョコンピョコンと登って行く。え??熊??カモシカ??立ち止まって見つめていると二頭もこちらに顔を向けそして再び登って行く。私以外誰もいない。急いで戻ろうと尾根を下ると二頭が通ったであろう足跡を発見。…大きい…カモシカにしところ。気候は暖かい。熊が目覚めていてもおかしくはない。

13 時 15 分 ゴンドラ乗り場「樽の森駅」到着

初めて来た樽池の二日間、天気に恵まれ思う存分スノーハイクを楽しみ、商品のフィールドテストも無事に終了。また来年も遊びに来たいと思う。情報提供者の友人に感謝。ありがとう！！

3 月 26 日(土)

8 時 50 分 自然園駅着

10 時 00 分 天狗原着

11 時 00 分 白馬乗鞍岳着

13 時 00 分 自然園駅着

樽池自然園でハイキング

14 時 45 分 自然園駅着 下山

3 月 27 日(日)

9 時 00 分 樽の森駅着

9 時 55 分 自然園駅着

11 時 00 分 天狗原着

13 時 15 分 樽の森駅着 下山



文責:松田留美

(天狗原より 二日間お世話になったエキスパートのワカン)

価格改定のお知らせ

別途ご案内でもお伝えしておりますが、2016年5月1日より諸材料(特にアルミ関連)の高騰につき下記商品のみ価格を変更させて頂いております。

5月1日以降ご注文をされる際は、お間違いの無いようご注意ください。

4月30日までの早めのご注文をお待ちしております。

品番	商品名	新価格(税抜) 2016.5.1~	旧価格(税抜) ~2016.4.30
SN3	スノーシューズM	12,150	11,750
SN4	スノーシューズL	12,400	12,100
SN17	スノーシューズM(F)	11,800	11,500
SN18	スノーシューズL(F)	12,150	11,900
C7	ステンレスピンペグL	480	450
C10	クロスペグ	800	715
CL12	スノーバーM	4000	3,500
CL13	スノーバーL	4900	4,200
CL14	アブミプレート	800	700

恒例のスノーシューズ・シーズン前予約は今年も実施予定でございます。

6/1~6/30の期間で行いますので、是非事前予約のご注文をお待ちしております。

Made in Japan の現場より写真レポート Vol.1

エキスパートオブジャパンでは、現在も日本製にこだわりを持って登山用品を生産しています。

工場には一般の方が通常では見た事も無い機械や道具に溢れています。

登山用品がどのような機械・道具で生産しているかをこれから写真と共に少しずつお届けしていきます。

今回ご紹介するのは、ワカン(スノーシューズ)のリベット用の穴をあけるプレス機の種類です。

量産品ではありますが、他業種の金属製造物から比較すると一日に作れる量は非常に少ない手造りの商品です。

ワカンを一足作るために必要な金型は10台以上使用します。その金型を一つ一つ必要なタイミングで手作業でセットして部品を製造していきます。

その手作業でできた部品を更に手作業で組み上げて商品となります。熟練の職人技が大きな要素をしめるこれらの作業は一朝一夕ではできません。

ワカンはもともと日本の民具、かんじきからヒントを得た商品で非常にシンプルな作りです。

永年、皆様に愛されてきてかなり完成度の高い商品と自負していますが、絶えず開発する目を持って日本製の生産にこだわり続けます。

このリベットのための、穴です。

